

財政収支(1-7月)

(1) 1-7月の歳入は前年同期比63.1%増、税収は同70.7%増。歳出は前年同期比96.8%増。
 (2) 結果として1-7月の財政収支は4,346.54億リラの赤字(前年同期比1,571.4%増)、プライマリーバランスは1,217.03億リラの赤字(同167.3%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2022年1-7月(A)	2023年1-7月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	14,623.90	23,847.63	63.1%
税収	12,026.39	20,526.28	70.7%
所得税	1,719.54	3,299.53	91.9%
法人税	2,655.28	3,123.35	17.6%
付加価値税(国内及び輸入)	3,977.37	6,880.56	73.0%
特別消費税	2,016.73	4,086.46	102.6%
その他税収	1,657.47	3,136.38	89.2%
税外収入等	25.98	33.21	27.9%
歳出(b)	14,328.50	28,194.16	96.8%
人件費	3,223.03	6,972.60	116.3%
物品及びサービスの購入	959.63	1,914.06	99.5%
経常移転	6,174.35	12,251.31	98.4%
資本支出	856.03	1,624.65	89.8%
支払利子(c)	1,513.47	3,129.51	106.8%
その他歳出	1,601.99	2,302.03	43.7%
財政収支(a-b)	295.41	▲ 4,346.54	▲ 1571.4%
基礎的財政収支(a-(b-c))	1,808.88	▲ 1,217.03	▲ 167.3%

経常収支(2023年1-6月)

(1) 2023年1-6月の経常収支は、368.03億ドルの赤字(前年同期は287.21億ドルの赤字)。
 (2) 2023年1-6月の貿易収支(物品)は506.75億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は159.65億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

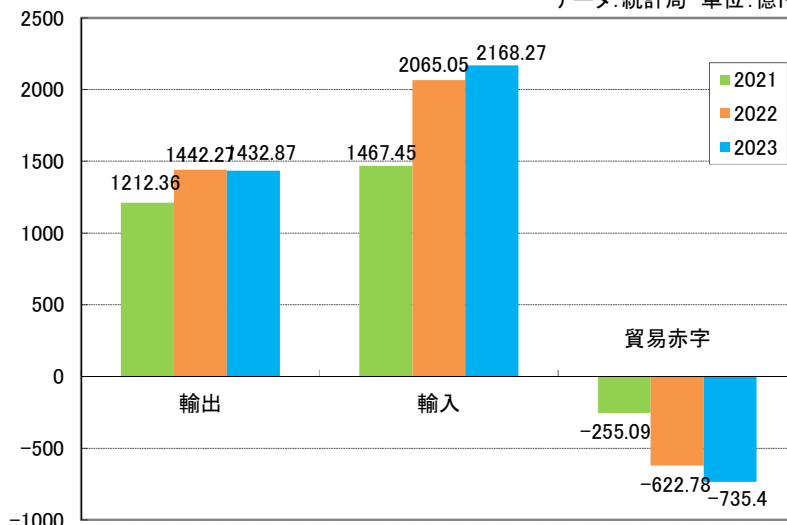
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2022年1-6月(A)	2023年1-6月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 287.21	▲ 368.03	▲ 28.1%
貿易収支(物品)	▲ 409.07	▲ 506.75	▲ 23.9%
サービス収支	178.81	197.31	10.3%
旅行収支	139.47	159.65	14.5%
第1次所得収支	▲ 49.92	▲ 59.89	▲ 20.0%
第2次所得収支	▲ 7.03	1.30	118.5%
労働者送金	1.17	1.36	16.2%
資本移転等収支	▲ 0.14	▲ 0.86	-
金融収支	▲ 167.14	▲ 440.41	▲ 163.5%
直接投資	▲ 44.78	▲ 21.46	52.1%
証券投資	115.38	11.50	▲ 90.0%
その他投資	▲ 114.26	▲ 152.22	▲ 33.2%
外貨準備	▲ 123.48	▲ 278.23	▲ 125.3%
誤差脱漏	120.21	▲ 71.52	▲ 159.5%

貿易収支(1-7月)

(1) 1-7月の輸出額は1,432.87億ドル(前年同期比0.65%減)、輸入額は2,168.27億ドル(同5.00%増)となり、この結果、貿易収支は735.4億ドルの赤字(同18.08%赤字幅拡大)となった。
 (2) 1-7月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は42.2%(前年同期は42.1%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は28.6%(前年同期は25.8%)となっている。

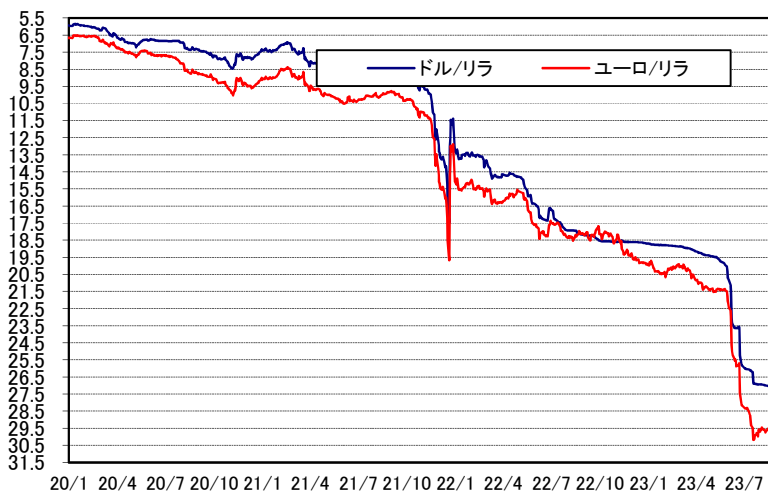
データ:統計局 単位:億ドル



為替(8月)

引き続きリラ安傾向にあったが、8月24日、トルコ中央銀行が市場予想より高い利上げを実施したことから、一時的に対ドル・ユーロ共にリラ高に転じた。月末は1ドル=26.66リラ(前月末比1.0%高)、1ユーロ=29.01リラ(同2.3%高)となった。

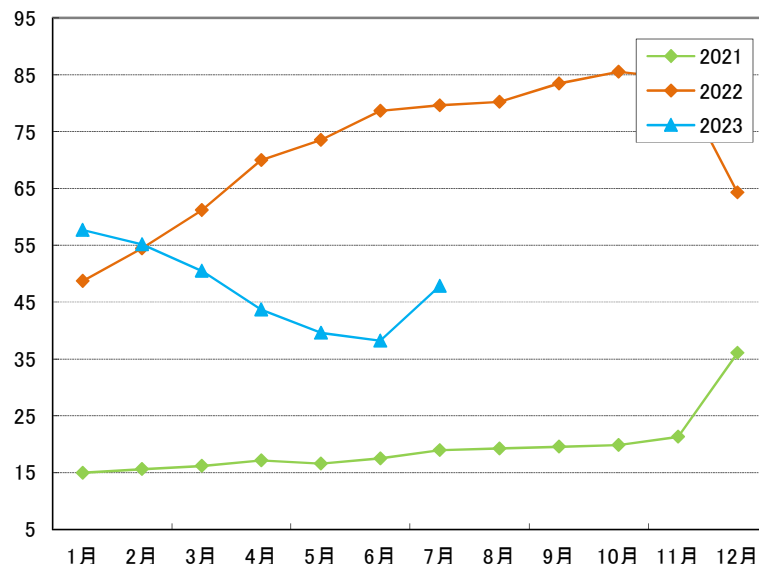
データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(7月)

- (1)7月の消費者物価は前年同月比47.83%増、前月比9.49%増。
- (2)項目別にみると、前年同月比82.62%でホテル及び飲食店が、前月比17.75%で輸送が最も上昇した。
- (3)2023年末のインフレ率の中銀目標(7/27時点)は前年同月比58%。
- (4)国内生産者物価指数は前年同月比44.50%増、前月比8.23%増となった。

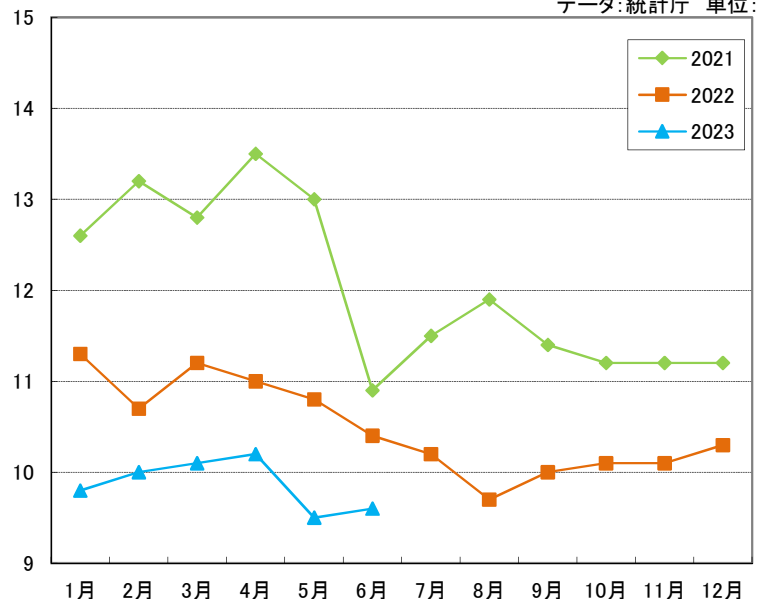
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(6月)

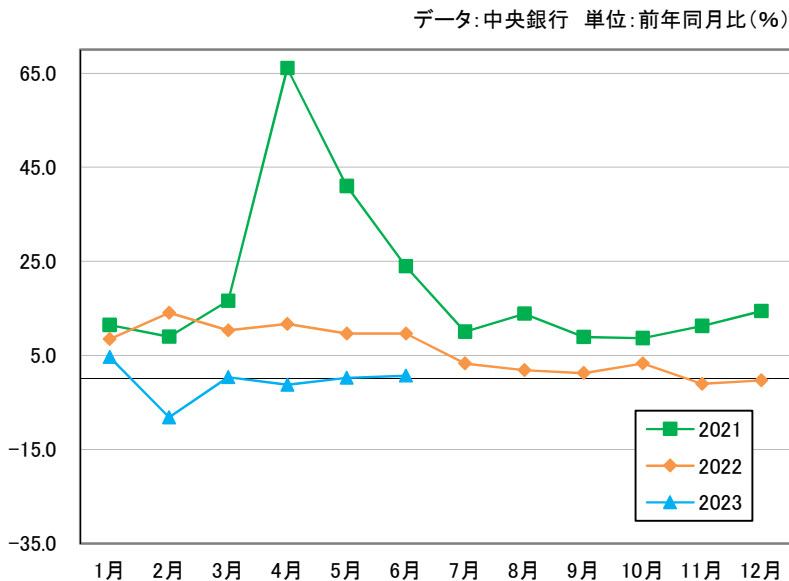
- (1)6月の失業率(季節調整後)は9.6%となり、前月から0.1ポイント上昇。
- (2)労働力人口は3,462.9万人、就労者数は3,129.1万人、失業者数は333.7万人。
- (3)男性の失業率は7.8%、女性は13.2%。若年層(15-24歳)の失業率は18.6%となっている。

データ:統計庁 単位:%



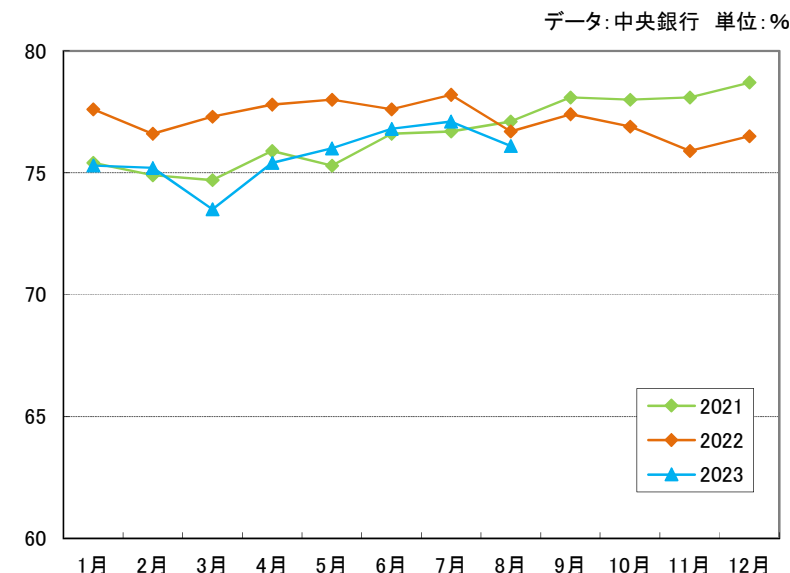
鉱工業生産(6月)

(1)6月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)0.6%増。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比7.9%増、資本財が同20.6%増、中間財が同3.7%減となった。



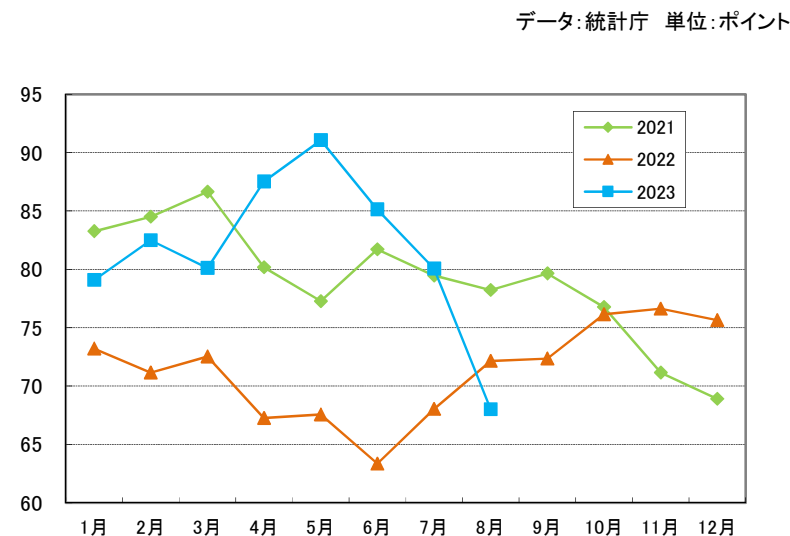
設備稼働率(8月)

(1)8月の設備稼働率は76.1%となり、前年同月から0.6ポイント減少し、前月から1.0ポイント減少。
 (2)製造業の分野別では、機械器具修理・設置業(82.5%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(66.8%)が最も低い稼働率であった。



消費者信頼感指数(8月)

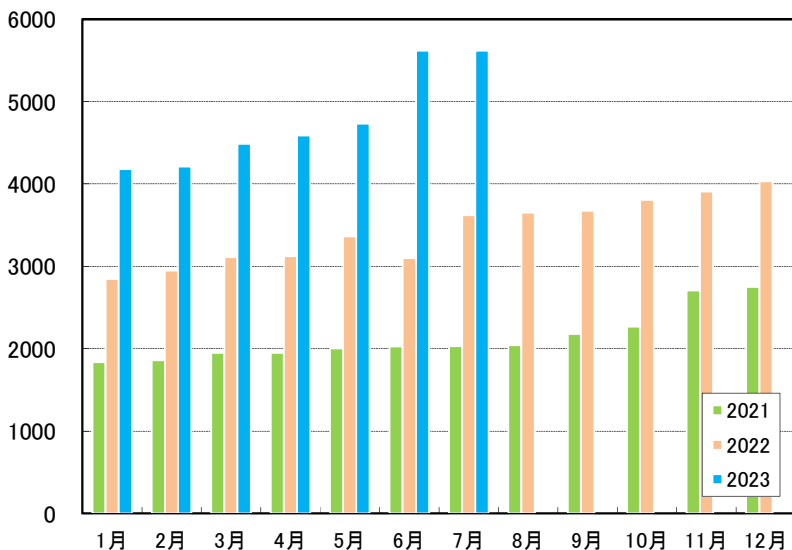
(1)8月の消費者信頼感指数(季節調整値)は68.0ポイントで、前月から12.1ポイント減少。
 (2)内訳では、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から減少した。



中央政府債務残高(7月)

(1)7月末時点での中央政府債務残高は5兆6,174億リラとなり、前年同月比55.1%増、前月比0%増となった。
 (2)また、国内債務比率は45.9%、自国通貨債務比率は32.9%(2022年末は34.5%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.9%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

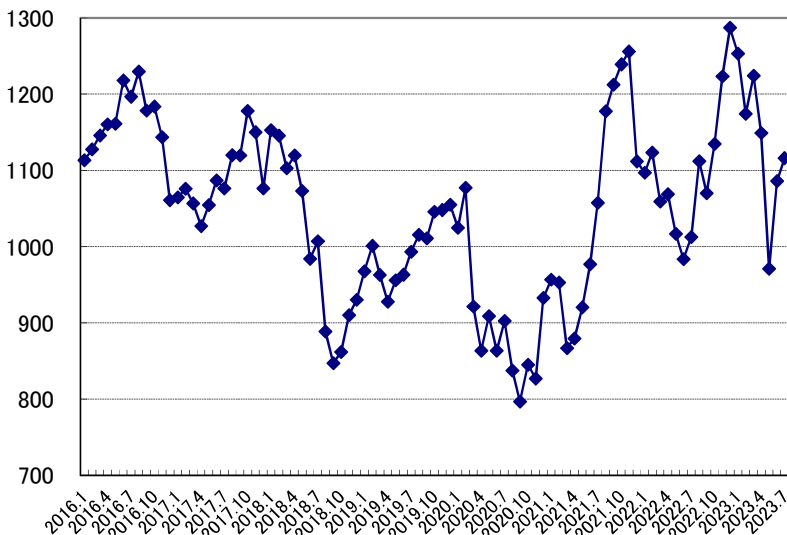
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(7月)

(1)7月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,116.23億ドルとなった。
 (2)前月から30.43億ドル上昇した。

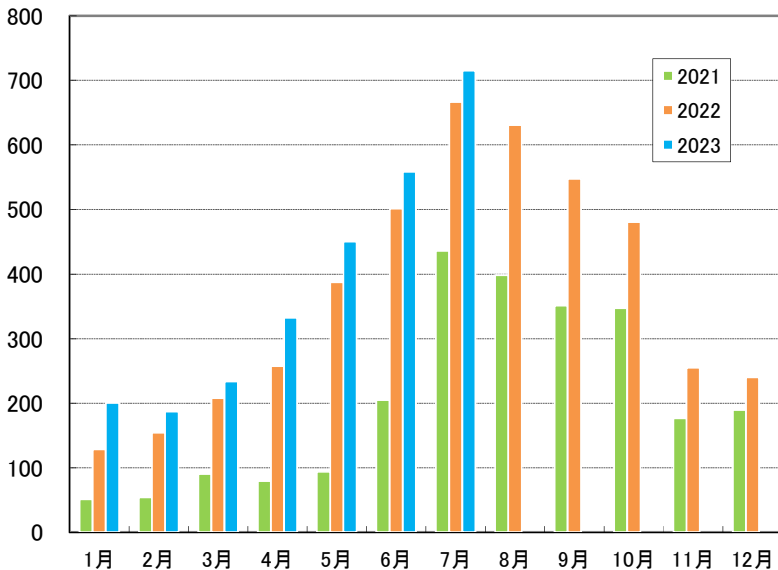
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(7月)

(1)7月の外国人訪問者数は7,148,044人で、前年同月比7.25%増。日本は8,012人であった(前年同月は3,138人)。
 (2)国別ではドイツが最も多く、941,597人で全体の13.17%を占め、以下、ロシア(884,585人)、イギリス(574,436人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

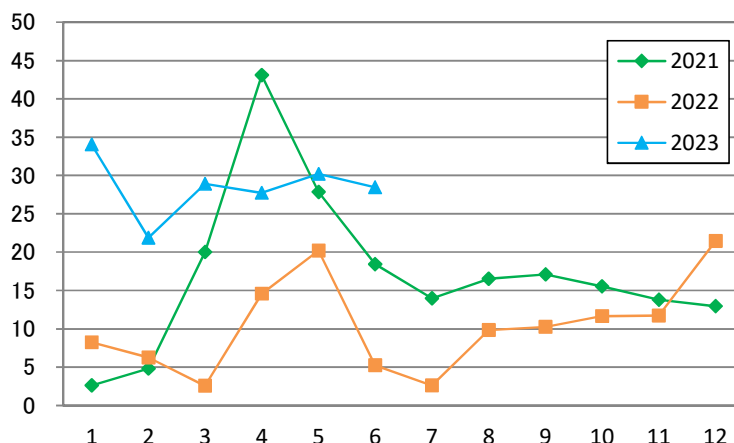


小売売上高(6月)

(1)6月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)28.5%増、前月比(季節及び日数調整後)0.1%減。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比26.6%増、繊維・衣料が同19.9%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同52.3%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

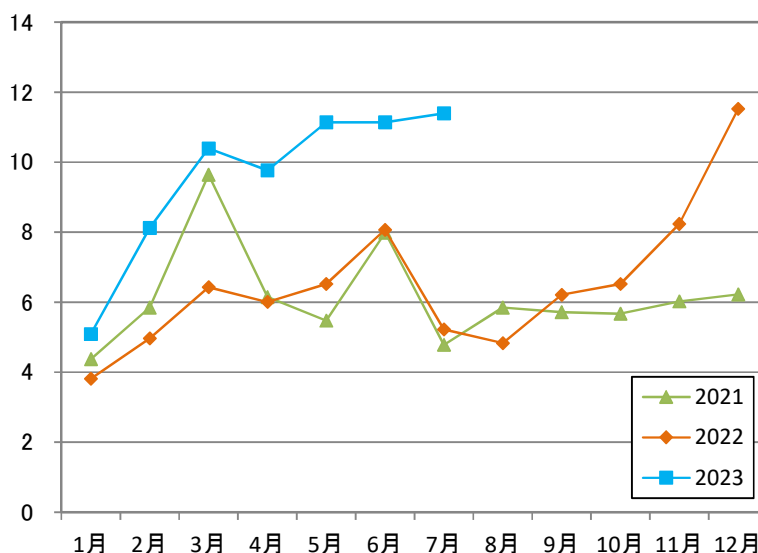


新車販売台数(7月)

(1)7月の新車販売台数は113,959台で前年同月比118.29%増。

(2)7月の内訳は乗用車が87,416台(前年同月比113.0%増)、小型商用車が26,543台(同137.5%増)となった。

データ:自動車販売協会 単位:万台



住宅販売戸数(7月)

(1)7月の住宅販売戸数は109,548戸で前年同月比16.66%増となった。

(2)7月は新築が31,641戸(前年同月比10.3%増)、中古が77,907戸(同19.5%増)。

(3)7月の住宅ローンでの購入は14,533戸(前年同月比24.1%減)、その他が95,015戸(同27.1%増)。

データ:統計庁 単位:万戸

